

2つの異なるグラフを読みとろう

単元	表とグラフ	対象学年	3年
ねらい	棒グラフを見て、グラフをよんだり特徴をとらえたりすることができる。 1目盛りが1でない棒グラフについて理解することができる。		

1 準備するもの

教師： 方眼黒板、「おかしのねだん」「のりものしらべ」の棒グラフ

児童： 教科書，ノート

2 学習のしかた

- (1) 身の回りにある事象やおかしの値段を取り上げる。そのため、児童にとって興味・関心を持ちやすく、実際のクラスや全校における活動などと関連づけて学習を深めることができる。そのため何のために表やグラフを作るのかという目的意識を掴みやすいと考える。
- (2) 前時に整理した表を棒グラフに表し、数量の大小比較が棒の長短により、容易にできるというよさを感じ取らせ、よみ方が理解できるようにする。
- (3) 1目盛りが1円でないグラフを提示し、1目盛りがいくつを表しているのか話し合わせる。そこで、目盛りに注目するように助言し、50、100と記入されていることに気付かせる。
- (4) 縦型の棒グラフだけではなく、横型の棒グラフを使ったものも取り上げる。縦横の目盛りや項目について表されているもの確かめ、横型の棒グラフがあることを知る。

3 学習上の留意点

- ・話し合いの場面を多く取り入れる。その関わり合いを基に自分なりの考えを深める。
- ・横型の棒グラフがあることを理解するために、児童の気づきやつぶやきを生かし、前時までに学んだ考えをふりかえる活動を取り入れる。
- ・グラフの読み取りの場面で戸惑っている場合は、友達と相談する機会を作ることで、解決に導く。



ワークシートに取り組む児童の様子

4 学習の効果

- ・グラフによって違う大きさの目盛りの取り扱いについて見通しを持つことができた。
- ・1目盛りの大きさを知り、グラフを正しく読み取ることができたか。

5 参考文献

啓林館 指導用デジタル教科書 わくわく算数3年下

(<http://application01.oklab.ed.jp/keirinkan/sansu3b/index.html>)

2つの異なるグラフについて考えよう

名前

◇お菓しのねだんについてしらべました。
グラフを読み取り、それぞれのねだんをいみましょう。

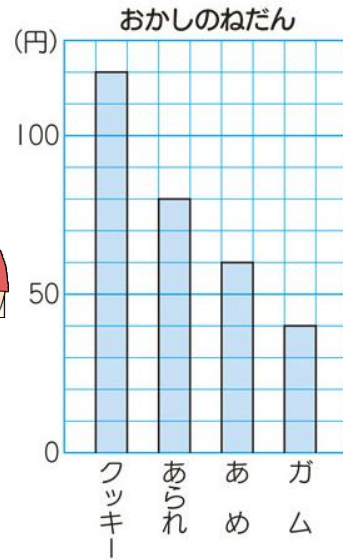
クッキーのねだん () 円

あられのねだん () 円

あめのねだん () 円

ガムのねだん () 円

1目もりは、
何円を表して
いるのかな？



グラフを見て、気がついたことをいみましょう。

◇右の表は、学校の前を、午前10時からの10分間に通った乗り物の数を表したものです。この表をもとに、下のぼうグラフをつくりました。
それぞれの台数をいみましょう。

◎今までのグラフとのちがいはどこだろうか？

乗用車 () 台 バス () 台

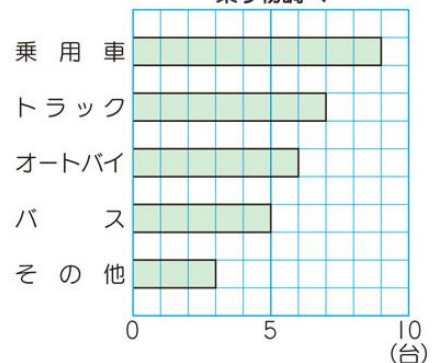
トラック () 台 その他 () 台

オートバイ () 台

乗り物調べ(台)

乗用車	正 1F
バス	正
トラック	正 T
オートバイ	正 一
自転車	T
タンクローリー車	一

乗り物調べ



グラフを見て、気がついたことをいみましょう。
